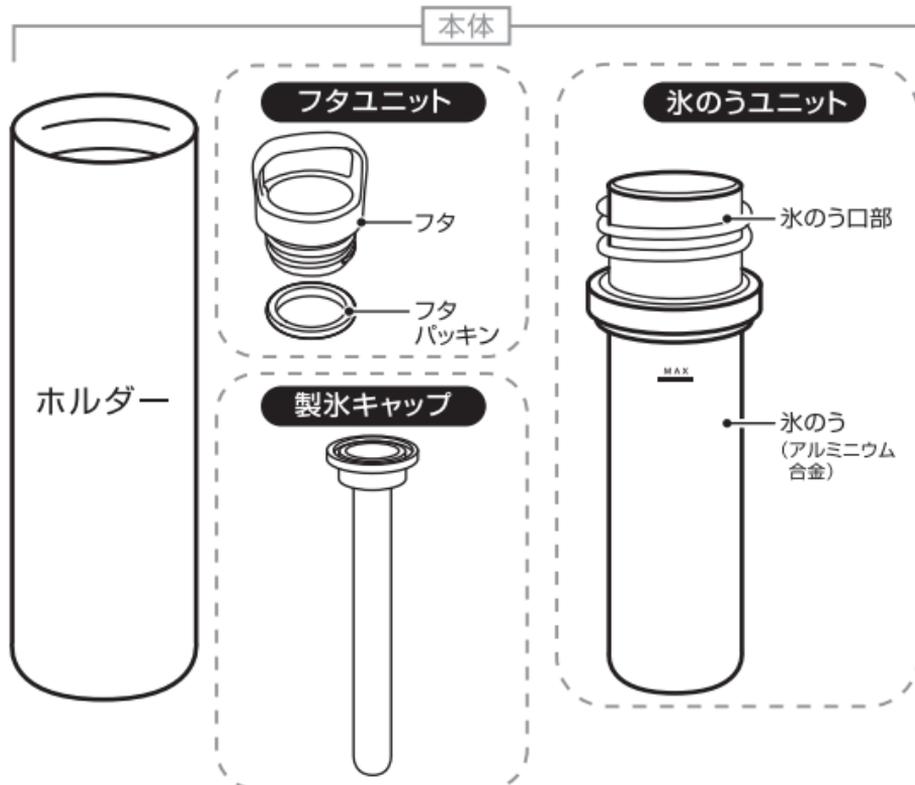


ゴリラの冷棒 取扱説明書

GRHB7

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。氷のうやボトル以外の目的には使用しないでください。
また、業務用としての使用はしないでください。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。
お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。

本体



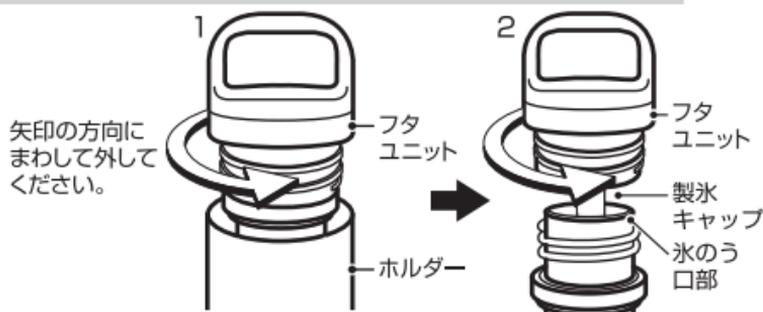
説明書中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用になる前に

- はじめてご使用になる前に、ホルダー・フタユニット・製氷キャップ・氷のうユニットに傷、凹み、ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 本体にシールが貼ってある場合は、シールをはがしてからご使用ください。但し、本体に貼ってある底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になる時は、本体を中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないでお買い求めのお店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

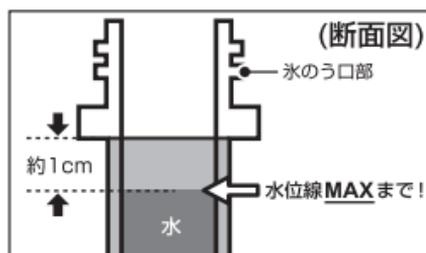
氷のう ご使用方法

- 1** フタユニットをホルダーから外し、フタユニットから氷のうユニットと製氷キャップをはずします。



- 2** 氷のうユニットに水を入れます。

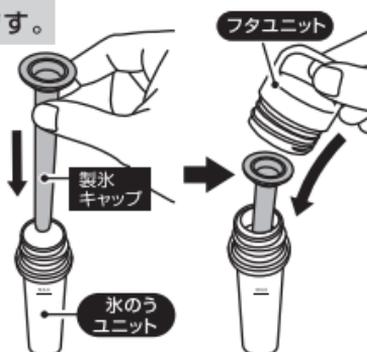
- 水の量は右図の位置までにしてください。入れすぎるとフタユニットを閉めたときに水が飛び出たり、水が凍る過程で膨張し破損の原因になります。
- 氷のうに水以外のものは入れないでください。



- 3** 氷のうユニットに製氷キャップを入れます。

水の入った氷のうユニットに製氷キャップを入れると浮遊しますがそのままフタユニットをかぶせて押し込みます。

- 注**
- 水位線以上に水を入れると水がこぼれる場合があります。水位線以上に水を入れてください。
 - 水があふれても良い場所でおこなってください。
 - 平らな場所に置いてください。水がこぼれる原因となります。
 - 製氷キャップを指で氷のうの中に押し込まないでください。取れなくなります。



- 4** フタユニットを閉めます。

製氷キャップが氷のうユニットに入っていることを確認し、氷のうユニットを立てた状態で、フタユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。閉めた後は、フタユニットが確実に閉まっていることを確認してください。製氷キャップが水で浮遊しますがそのままフタユニットで閉めてください。

- 注**
- フタユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。水がこぼれ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。
 - 製氷キャップの中に水を入れて使用しないでください。氷のうが破損するおそれがあります。



氷のう ご使用方法

5 冷凍庫で凍らせます。

氷のうユニットをよく拭いてから冷凍庫に入れてください。5時間以上凍らせてください。



- 注**
- 必ずフタを閉めた状態で逆さまや横にせず、立てた状態で置いてください。製品が濡れていると冷凍庫に貼り付くおそれがあります。
 - 冷凍庫から取り出してすぐにフタユニットを取りはずすことはできません。しばらく溶かしてから開けるようにしてください。

6 冷凍庫から取り出してホルダーに入れます。

1. 氷のうユニットの氷のう部分にふれないようにフタユニットを持って冷凍庫から取り出し、ホルダーにセットしてください。



- 注**
- 冷凍庫から取り出した時は、氷のうの表面が非常に冷たくなっているのでお取り扱いにはご注意ください。
肌や衣類に貼り付いてしまった場合は流水にあて、ゆっくり引き離してください。

2. ホルダーを立てた状態でフタユニットを矢印の方向に確実に閉めてください。閉めた後は、フタユニットが確実に閉まっていることを確認してください。



7 冷やしたい部位にあててください。

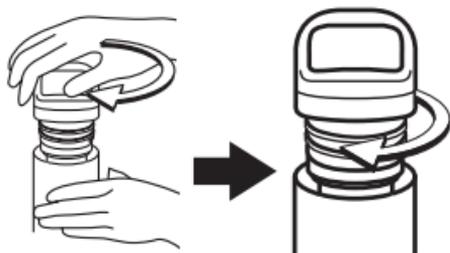
ホルダーから取り出して冷やしたい部位にあててください。

- 注**
- 使用する際に結露が出ますが本製品の特性であり不良ではありません。
同じ部位に長くあてないでください。
低温やけどのおそれがあります。



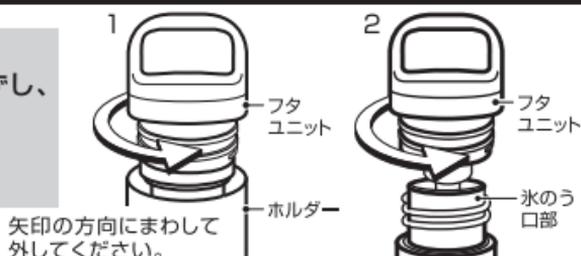
8 使い終わったら

ホルダーを立てた状態でフタユニットを矢印の方向に確実に閉めてください。閉めた後は、フタユニットが確実に閉まっていることを確認してください。

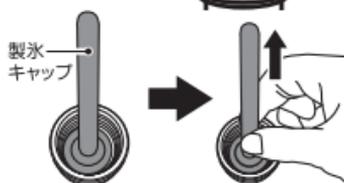


ボトル ご使用方法

- 1** フタユニットをホルダーからはずし、フタユニットから氷のうユニットをはずします。

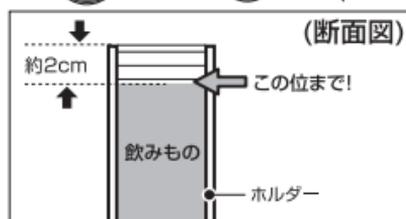


- 2** 製氷キャップをはずします。



- 3** 飲みものをいれます。

飲みものの量は右図の位置までにしてください。
入れすぎると、フタユニットを閉めたときに飲みものが溢れ出る原因になります。



- 4** フタユニットを閉めます。

フタユニットにフタパッキンが取り付けられていることを確認し、ホルダーを立てた状態で、フタユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。閉めた後は、フタユニットが確実に閉まっていることを確認してください。

注 フタユニットを閉めるときは、ホルダーを傾けたり揺らしたりしないでください。飲みものが溢れたり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。

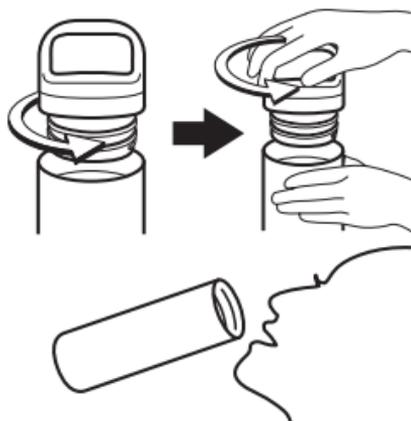


- 5** 飲みものを飲みます。

1. 本体を立てた状態で、フタを矢印の方向にまわして開けてください。

2. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲みます。

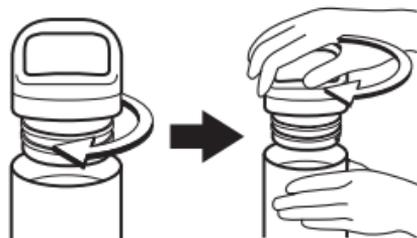
注 飲む際にはホルダーを落とさないように確実に持ってください。



ボトル ご使用方法

6 飲み終わったら。

ホルダーを立てた状態で、フタを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。閉めた後は、フタが完全に閉まっていることを確認してください。



フタパッキンのはずし方・取り付け方

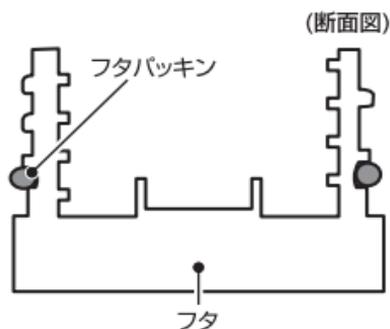
フタパッキンのはずし方

パッキンを破損しないようにつまようじなどを使い注意して取りはずしてください。



フタパッキンの取り付け方

図のように正しく取り付けてください。取り付け後は、フタパッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。



お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた中性洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

ホルダーのお手入れ

中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
ホルダー内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を入れ30分間（目安）つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。



注

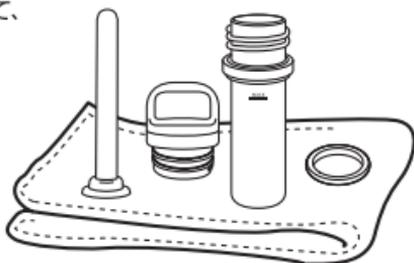
酸素系漂白剤を使用する際は、ホルダーはフタユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上昇し、フタユニットが破損するおそれがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注

本体は水中に放置しないでください。

フタユニット・水のうユニット・製氷キャップのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。
長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。
洗浄時にフタパッキンをははずす場合は、洗浄後にフタパッキンを取り付けてください。



お手入れ上のご注意 ●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■ 本体は煮沸しないでください。

部品が変形し、水が漏れる原因になります。

■ 食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

部品が変形し、水が漏れる原因となります。

■ ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。

お手入れが不十分だと、においや汚れ、パッキンの変色の原因になるおそれがあります。

お手入れ上のご注意 ●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

- 本体は水中に放置しないでください。

不良の原因になります。

- 塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、不良の原因になります。

- ホルダー外側と氷のうユニットには漂白剤を使用しないでください。



警告

- 子どものいたすらに注意して、乳幼児の手の届くところには置かないでください。

ご使用上の注意

- フタパッキンが確実に装着されていることを確認してください。水が漏れる原因になります。フタパッキン・製氷キャップの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。
- フタユニット、氷のうユニットが確実に閉まっていることを確認してください。水が漏れる原因になります。フタユニット・氷のうユニットはまっすぐに閉めてください。
- ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。製品の変形、変色の原因になります。
- 電子レンジでの加熱はしないでください。火花が飛び危険です。
- 氷のうに入れる水の量はP2の2項図の位置、ホルダーをボトルとして使用する場合に入れる飲みものの量はP4の3項図の位置までにしてください。入れすぎると凍らせる際に膨張して破損の原因となったり、水が漏れたり溢れ出す原因になります。
- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。故障・事故の原因となり危険です。
- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
- パソコン・スマートフォンなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。万一、水に濡れた場合、精密機器の破損、故障の原因になるおそれがあります。
- 体質や体調により、異常を感じた際は使用を中止してください。
- 氷のうは結露します。＊周囲環境によってはステンレス瓶も結露する場合があります。
- 本体の上に座ったり、ものをのせたりしないでください。部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- 本体外側がぬれた状態で使用しないでください。本体を落としたり、ケガや事故の原因になります。



ご使用上の注意

<氷のうとして使用上の注意>

- 氷のうは保冷専用です。**熱湯**を入れないでください。
やけど・破損のおそれがあり危険です。
- 氷のう以外には使用しないでください。
- 氷のうには水以外は絶対に入れないでください。
- 水を入れた後、氷のうユニットを逆さまにして漏れないことを確認してください。
- 同じ部位に長時間あてないでください。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
- 氷のうユニットとホルダーの間には水や飲みものを入れないでください。

<ボトルとして使用上の注意>

- ボトルとして使用する場合は必ず氷のうユニット・製氷キャップを取りはずしてください。
- 飲みものの保冷・保温以外には使用しないでください。
- 熱湯を入れた場合、次の点を必ず守ってください。
 - 熱湯を入れると内圧が上昇してフタを開けた瞬間に熱湯が吹き出すことがあります。必ずホルダーを立てた状態で、フタを少しずつ緩め、圧力を逃がしながら開けてください。やけどの原因になり危険です。
 - ホルダーを急に傾けないでゆっくり飲んでください。
飲みものが勢いよく出て、やけどの原因になり危険です。
- 本体は傾けた状態で開閉しないでください。
飲みものが漏れる原因になります。
- 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上昇し、フタユニットが開かなくなるおそれがあります。
- 次のものを絶対に入れないでください。
 - ドライアイス・炭酸飲料
内圧が上昇し、フタユニットが開かなくなるおそれがあります。また、飲みものが噴き出したり、フタユニットが破損して飛散するおそれがあり、危険です。
 - みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの
ホルダー内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分により、サビが発生する原因になります。
 - アルコール飲料
アルコールは、発酵して内圧が上がり、フタユニットが破損して飛散することがあり危険です。



ご使用上の注意

- スポーツドリンクや牛乳・乳飲料・果汁など入れた場合は、使用后すぐにお手入れしてください。

スポーツドリンクに含まれる塩分により、サビが発生する原因になります。また、牛乳・乳飲料・果汁などは成分の腐敗や変質の原因になります。腐敗などによりガスが発生して内圧が上昇し、フタユニットが開かなくなるおそれがありますのでご使用後すぐにお手入れしてください。

- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。

「お手入れについて」に従って汚れやおいを落とす後、十分に乾燥させてください。

製氷キャップ、フタパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。

困ったときのQ&A

Q 水・飲みものが漏れたときは？

- A**
1. ユニットがしっかり閉められているか確認してください。
 2. 各パーツが欠損・破損・消耗していないか確認してください。

Q ホルダー内側が変色したときは？

- A**
1. 汚れが付着している場合、中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
 2. 斑点状の赤いサビが付着している場合、水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%ほど薄めたぬるま湯をホルダー内側に入れ、約30分後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
 3. ザラザラしたものが付着している場合、水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯をホルダー内側に入れ、フタユニットを取り付けずに約3時間後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。

注 酸素系漂白剤を使用する際は、ホルダーはフタユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上昇し、フタユニットが破損するおそれがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

困ったときのQ&A

Q 保温・保冷が効かないときは？

A 飲みものの量が少なくないか確認してください。
飲みものの量を多くすると効果的です。

注 氷のうとして使用する場合は保冷専用です。

Q 異臭がするときは？

A ホルダー内側・フタユニット・氷のうユニットに汚れが付着していないか確認してください。ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

お客様サポート



<https://www.do-cooking.com/support/>

お電話でのお問い合わせはお待たせする場合がございます。また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますのでお調べまでにお時間を頂戴しております。インターネットをご利用いただいた方が早くご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は上記二次元コードもしくは、URLからご利用ください。

製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声
(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

D 株式会社ドウシシャ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 **0120-104-481**

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※製品、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※お電話をいただいた際にお話しいただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

株式会社ドウシシャ 福井カスタマーセンター (ハウス修理課)